

2024
10月号

No.136

営農情報誌

J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課

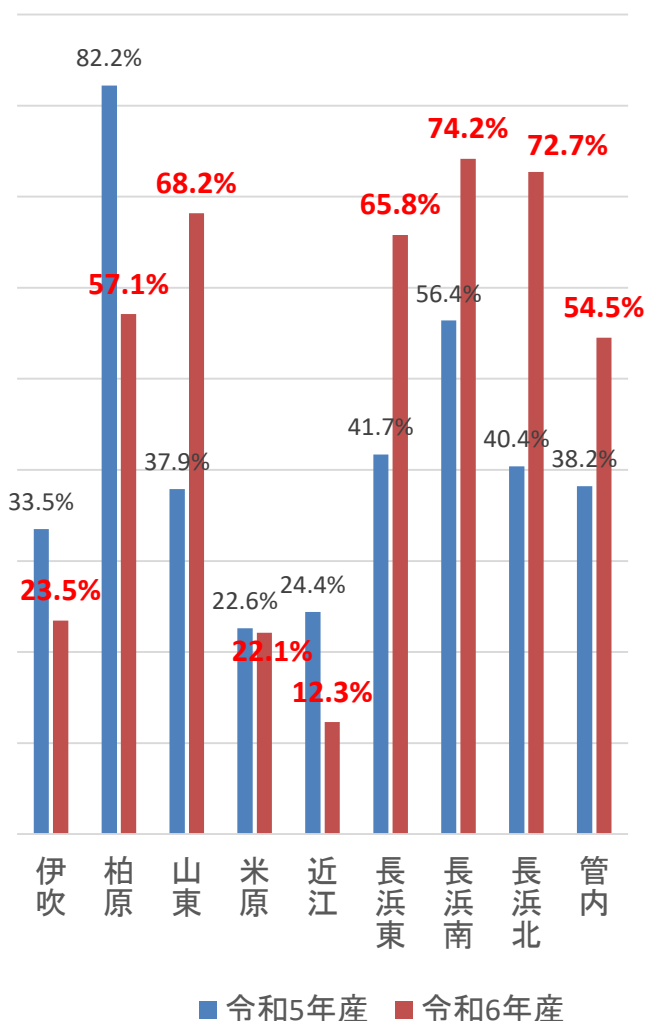


経済センター 0749-63-2101

R6年産米コシヒカリの検査状況について(9/29現在)

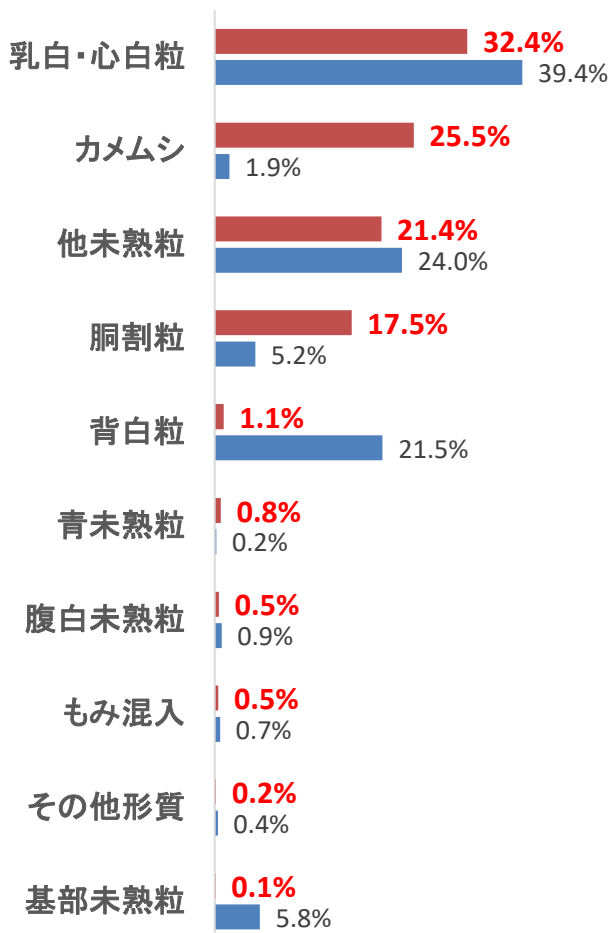
レーク伊吹管内のコシヒカリの一等米比率は54.5%で、前年の38.2%を上回りました。2等米以下の主な格付け理由として乳白・心白粒が多く、昨年に比べて斑点米カメムシによる品質低下が増加しています。

地域別コシヒカリ1等比率(水田活用米穀を除く)



コシヒカリ2等以下の格付け要因(R5と比較)

■ 令和6年産 ■ 令和5年産



秋の土づくりのポイント

作土深が浅いと、根張りが浅く登熟期の高温に対する抵抗力を弱めます。また、根域が狭くなるので、養分供給量が少なくなり地力低下の要因になります。



レーク伊吹管内の土壌ではケイ酸・リン酸が不足しています。

田華の豊稲施肥による3つのバランス効果

①アルカリ補給効果

- ・稲わら分解促進
- ・pHの上昇、適正維持
- ・カドミウムの吸収抑制効果



②リン酸補給効果

- ・根の生育促進
- ・草型改善、根量確保
- ・秋落ち軽減



③ケイ酸補給効果

- ・倒伏軽減
- ・品質向上
- ・病虫害抑制

田華の豊稲の施用基準

注意

基準施用量に基づく土づくり資材はJA米の要件です。

土壌pH		5.5～6.0	6.0～6.5	6.5以上
田華の豊稲	砂状	80kg	60kg～80kg	60kg
	粒状	80kg	60kg～80kg	60kg

多年生雑草対策について

多年生雑草は刈取り後も生育を続け、地中で塊茎成し肥大させることで、翌年の発生源になります。このような雑草を減らすためには、収穫後にラウンドアップの散布に加え、秋耕を行いましょ。

代表的な多年生雑草



ラウンドアップの使用注意点

① 茎葉に50倍希釈液を散布して根まで枯らして塊茎の発生を減らし、翌年の発生を抑えます。

② 農薬成分 1成分
来年に環境こだわり栽培の場合は1成分とみなされます。
ご注意ください。



ラウンドアップ
マックスロード